



アトピーへの正しい視点 みんなで考えるアトピージャーナル

JADPA



NPO法人日本アトピー協会

発行：NPO法人 日本アトピー協会 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階 電話.06-6204-0002 FAX.06-6204-0052 Eメール：jadpa@wing.ocn.ne.jp ホームページ：http://www.nihonatopy.join-us.jp/

CONTENTS

- ◆アトピー性皮膚炎「新薬の今を見る」..... P1~P5
◆新薬開発の現状 ..... P1
◆アトピー性皮膚炎の治療新薬..... P2~P4
◆既存のアトピー性皮膚炎治療薬 ..... P4~P5
◆法人賛助会員様ご紹介 第65回 .....P3
◆新薬への期待は高まりますが、.....P6
◆ハーイ!アトピーづきあい40年の友実です .....P7
◆大阪はびさの医療センターの .....P7
◆「アレルギー週間 市民公開講座」のお知らせ .....P8

アトピー性皮膚炎(新薬の今を見る)

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。ここ近年、アトピー性皮膚炎の治療新薬が続々と発表されています。自己注射薬も登場したデュピクセントや新たな外用薬コレクチム軟膏、そして飲み薬オルミエント錠など、既に処方いただいた方もおられると思います。その他にも、既に承認済みや申請中の新薬もあるようです。今回は、新たな治療選択肢となる新薬、そして既存の実績ある治療薬なども含み現状をまとめてみました。

新薬開発の現状

様々な新薬が開発される中、アトピー性皮膚炎に対する治療薬はどれくらい開発、申請されているのでしょうか? 株式会社じほう様の【新薬開発一覧2021年10月版・9/15現在】他よりアトピー性皮膚炎治療薬を抜粋してご紹介します。

Table with columns for drug name, manufacturer, and approval status. Includes entries like PDE4阻害剤/ジファミラスト/外用剤 (大塚製薬) and フェーズ3 drugs like Crisaborole/クリサボロール/外用剤 (ファイザー).

Table listing Phase 2 and Phase 3 drugs. Phase 2 includes Hit-type anti-OX40 antibody/injection (協和キリン) and Brepocitinib/プレボシチニブ/外用剤 (ファイザー). Phase 3 includes JAK inhibitors like Delgocitinib/デルゴシチニブ/外用剤 (日本たばこ産業).

臨床試験とは

よく聞く「治験」とは、医薬品もしくは医療機器の製造販売に関し、薬機法上の承認を得るために行われる臨床試験のこと。元々は「治療の臨床試験」と言われています。治験は、国(厚生労働省)が定めた法律と国際的なルールに従って行われ、そのデータをもとに医薬品として適切であるかどうかを国(厚生労働省)が審査します。治験は第I相から第IV相までの4段階で行われます。

■第I相試験(フェーズI)

- ・対象者:健康成人(自由意思に基づき志願した人)
・試験目的:試験薬を少量から段階的に増量し、被験薬の薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)や安全性(有害事象、副作用)等を検討する探索的試験。動物実験の結果を受けてヒトに適用する最初のステップ。安全性を検討する上で重要。

■第II相試験(フェーズII)

- ・対象者:比較的軽度な少数例の患者。
・試験目的:有効性・安全性・薬物動態などの検討を行う探索・検証

患者さんからのご相談はいつでもお受けします。

症状がいつに改善されず長びく治療にイライラが募り先行きを悲観...ちょっと待った!全国約600万人(\*)の方があなたと同じ悩みをかかえています。ここはみんなで「連帯」し、ささえあいましょ。日本アトピー協会をそのコア=核としてご利用ください。

\*H12~14年度厚生労働科学研究によるアトピー性皮膚炎疫学調査より推計。

ご相談は

電話:06-6204-0002 FAX:06-6204-0052
メール:jadpa@wing.ocn.ne.jp
お手紙は表紙タイトルの住所まで、なおご相談は出来るだけ文面にしてお願いします。電話の場合はあらかじめ要点をメモにしてすみじかをお願いします。(ご相談は無料です。)

◆協会は法人企業各社のご賛助で運営しております。 ◆患者さんやそのご家族からのご相談は全て無料で行ってあります。

の試験。次の第Ⅲ相の試験で用いる用法・用量を検討。  
試験の目的に応じて様々な試験デザインが採用される。

#### ■ 第Ⅲ相試験(フェーズⅢ)

- ・対象者:患者(発売後、実際にその化合物を使用する人)
- ・試験目的:有効性の検証や安全性の検討を主な目的とし、それまでに検討された有効性を証明する。ランダム化や盲検化などの試験デザインが採用されることが多く数百例以上の規模になることもあり、多施設共同で行う場合が多い。

#### ■ 製造販売承認申請

第Ⅰ相から第Ⅲ相までの試験成績をまとめ、医薬品の製造販売承認申請が行われる。医薬品医療機器総合機構による審査を受けて承認されると医薬品としての販売が可能に。

#### ■ 第Ⅳ相試験(フェーズⅣ)

- ・対象者:患者(発売後に実際にその化合物を使用する人)
- ・試験目的:製造販売後臨床試験と呼ばれ、実際に発売した後に広く使用されることで、第Ⅲ相まででは検出できなかった予期せぬ有害事象や副作用を検出する。

## アトピー性皮膚炎の治療新薬

デュピクセントの発売から、アトピー性皮膚炎の新薬申請が一気に増えたように感じます。許可申請には随分な日数を要します。既に許可申請が承認され処方可能となったお薬や、承認されて販売予定のお薬について、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)の掲載などからまとめてみました。

### 【コレクチム®軟膏/デルゴシチニブ】

(2020年6月 0.5%・2021年6月 0.25% 販売開始)

ステロイド外用薬等の塗り薬とは異なる機序で作用し、バリア機能を改善させる薬。細胞内の免疫活性化シグナル伝達に重要な役割を果たすヤヌスキナーゼ(JAK)ファミリー(1,2,3及びTyk2)全てのキナーゼ活性を阻害し、免疫反応の過剰な活性化を抑制することで、アトピー性皮膚炎の炎症を抑制します。また、掻破行動(そう痒)及び皮膚バリア機能関連分子の発現低下を抑制します。デルゴシチニブの強さは、ステロイド外用薬のストロングクラス同程度という評価です。

#### ● 使用方法

- ・成人:0.5%製剤を1日2回塗布。1回に塗る量は5g。(5gチューブ1本)まで。
- ・小児:通常0.25%製剤を1日2回塗布。症状に応じて0.5%製剤を1日2回塗布可能。1回に塗る量は5g(5gチューブ1本)までだが、体格を考慮する。

症状が改善した場合は0.25%製剤に切り替える。

低出生体重児、新生児、乳児及び2歳未満の幼児に対する安全性は確立していない。1回に塗る量は、体表面積の30%までを目安。

手のひら1枚が、概ね体表面積の1%の塗布量。

#### ● 使用上の注意

- ・重ねて塗るといより、重症度や状態によって部位ごとに使い分ける方が望ましい。
- ・タクロリムス軟膏との併用、シクロスポリンやデュピルマブ等の全身療法との併用は、安全性が不明のため原則NG。
- ・副作用としては最も頻度が高いとされるのが適応部位毛包炎、次いで伝染性軟属腫(水いぼ)などの感染症。
- ・赤または白の小さな吹き出物やニキビなどがあらわれることがある。
- ・粘膜や皮膚の傷、ただれ部位、皮膚感染症と診断された部位を避けて塗る。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある方、授乳している方は医師に相談する。

● 薬価	コレクチム軟膏	0.5%	139.7円/g
		0.25%	141.4円/g

京都大学大学院医学研究科・医学部皮膚科学教室教授

花島 健治先生の解説より

2020年6月に発売されたデルゴシチニブ(コレクチム®軟膏)は、私

を中心とした京都大学大学院医学研究科皮膚科学チームと日本たばこ産業株式会社とで共同開発しました。JAK阻害薬の外用薬としては世界初になります。

アトピー性皮膚炎の病態には、①炎症 ②バリア機能の破壊 ③痒みという3つの要素があります。長年アトピーの中心となっているステロイド外用薬は、炎症にはとても効果的ですが、バリア機能は修復せず、むしろ悪くする方向に働き痒みを抑制できる効果も期待できません。バリア機能を保持するために保湿外用薬が推奨されていますが、これも根本的にバリア機能を内側から作り上げているというわけではなく、油分の膜を物理的に被せているだけとも言えます。そこで私は、バリア機能を修復し炎症も抑える作用について10年ほど前から検討を始めました。アトピーの炎症は、IL-4、IL-5、IL-13、IL-22、IL-31などのサイトカインが関係していることがわかっていましたが、サイトカインは、細胞内でヤヌスキナーゼ(Janus kinase:JAK)Statシグナルを通して働きます。そのシグナルをブロックするのがJAK阻害薬で、関節リウマチなど他の炎症性疾患でもJAK阻害薬は内服薬として開発されてきました。我々は、「皮膚への濃度を強くかつ全身への副作用を抑える」というステロイド外用薬と同じ概念で、外用薬としてデルゴシチニブの開発に携わりました。

### 【オルミエント®錠/バリシチニブ】

(2020年12月 追加承認)

抗リウマチ薬、アトピー性皮膚炎治療剤と呼ばれるグループに属する薬。2017年7月に「既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)」の効能または効果で承認され、2020年12月に「既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎」の効能または効果で追加承認されました。

ヤヌスキナーゼ(JAK)という酵素を阻害することで炎症や痛みの発現に関わっている複数の物質に作用し、関節リウマチ、アトピー性皮膚炎または新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による肺炎の症状を改善します。

ステロイド外用剤やタクロリムス外用剤などによる適切な治療を一定期間受けても十分な効果が得られず、強い炎症を伴う皮疹が広範囲に及ぶ患者さんに使用されます。

原則として、アトピーの部位の状態に応じて抗炎症外用剤、保湿外用剤が継続使用されます。

#### ● 使用方法

- ・飲む量は症状などに合わせて医師が決める。
- ・成人の既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎。飲む量及び回数は、4mg・2mgとも1日1回錠。
- ・オルミエント錠4mgを使用して効果が認められた場合は2mgの使用になることがある。
- ・8週間使用で効果が得られない場合は中止されることがある。

#### ● 使用上の注意

- ・免疫反応に関与するヤヌスキナーゼ(JAK)という酵素を阻害するため、感染症にかかりやすくなる可能性がある。発熱や倦怠感、持続する咳などがあらわれた場合は、速やかに主治医に相談する。
- ・この薬を使用している間は定期的に胸部X線などの検査が行われる。
- ・ヘルペスウイルスを含むウイルスの再活性化(帯状疱疹など)が報告されている。
- ・服用中は、生ワクチン【BCG、麻疹(はしか)、風疹(ふうしん)、麻疹・風疹混合(MR)、水痘(みずぼうそう)、おたふくかぜなど】の接種はできない。
- ・妊娠または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することができない。
- ・授乳している人は医師に相談する。
- ・免疫抑制作用が増強されると感染症のリスクが増加することが予想されるので、バリシチニブと免疫調整生物製剤、他の経口JAK阻害剤、シクロスポリン等の強力な免疫抑制剤との併用はしない。バリシチニブとこれら薬剤の併用経験はないとされている。

● 薬価	オルミエント錠	4mg	5274.9円/錠
------	---------	-----	-----------



2mg 2705.9円/錠

広島市立広島市民病院 病院長 皮膚科医

秀 道広先生の解説より

近年、大人のアトピーが増えています。特徴的な症状は痒みですが、痒みによる睡眠障害や抑うつその他、喘息や蕁麻疹などのアレルギー疾患を引き起こすことも。一見元気に見える人でも、生活の質が大きく低下してしまいます。

薬物治療は、ステロイドなどの炎症を抑える薬が基本です。新たに適用となったオルミエントは、飲み薬のJAK阻害剤※です。これまでの治療で十分な効果が得られなかった中等症以上の患者さんが対象です。オルミエントは、皮膚の炎症やバリア機能の低下を誘発する様々な細胞内のシグナル伝達を阻害する働きがあり、炎症や痒みを軽減する効果があります。

副作用として上気道感染(喉や鼻の感染)などが報告されているため、薬剤の扱いに慣れた皮膚科専門医に処方してもらいましょう。  
※JAK阻害剤:JAKという酵素を阻害し、免疫反応に関わるサイトカイン(主にたんぱく質からできており、細胞から生産・分泌される物質)を抑えて症状を改善する薬剤。

### 【リンヴォック®錠/ウパダシチニブ水和物】

(2021年8月 追加承認)

この薬はヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤と呼ばれるグループに属し、酵素を阻害することで炎症や痛みの発現に関わる複数の物質に作用し、関節リウマチや関節症性乾癬、アトピー性皮膚炎の症状を改善します。

2020年1月に、既存治療で効果不十分な関節リウマチに対する治療薬として日本における製造販売承認を取得。2021年5月に関節症性乾癬(乾癬性関節炎)の追加承認取得。2021年8月に「既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎」の効能または効果の追加承認を取得しました。

ステロイド外用薬やタクロリムス外用薬などによる適切な治療を一定期間受けても十分な効果が得られず、強い炎症を伴う皮疹が広範囲に及ぶ場合に使用されます。原則、この薬を使用する時にはアトピーの部位の状態に応じて抗炎症外用剤、保湿外用薬が継続使用されます。自己判断で使用を中止したり、増減せず、指示通りに飲み続けます。

#### ●使用方法

【アトピー性皮膚炎の場合】

- ・成人：リンヴォック錠30mg・15mgとも1日1回1錠。  
7.5mgは1日1回2錠。
- ・12歳以上かつ体重30kg以上の小児：リンヴォック15mgは1日1回1錠、7.5mgは1日1回2錠。

成人も小児も、通常、使用開始から12週までに効果が得られない場合は、飲む量の変更または使用を中止することがある。

#### ●使用上の注意

- ・免疫反応に関与するJAKを阻害するため、感染症にかかりやすくなる可能性がある。発熱や倦怠感などがあらわれた場合には、速やかに主治医に相談する。
- ・この薬を使用している間は定期的に胸部X線などの検査が行われる。
- ・ヘルペスウイルスを含むウイルスの再活性化(带状疱疹など)が報告されている。
- ・服用中は、生ワクチン【BCG、麻疹(はしか)、風疹(ふうしん)、麻疹・風疹混合(MR)、水痘(みずぼうそう)、おたふくかぜなど】の接種はできない。
- ・妊娠または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することができない。
- ・授乳している人は医師に相談する。
- ・免疫抑制作用が増強されると感染症のリスクが増加することが予想され、本剤と適応疾患の生物製剤、他の経口ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤、タクロリムス、シクロスポリン等のような免疫抑制剤(局所製剤以外)との併用はしない。本剤とこれらの薬剤との併用経験はないとされている。

#### ●薬価 リンヴォック錠

30mg/7459.4円/錠

15mg/4972.8円/錠

7.5mg/2550.9円/錠

### 【サイバインコ®錠/アプロシチニブ/】

(2021年9月 承認/12月13日 発売開始)

この薬は選択的にヤヌスキナーゼ(JAK)1を阻害する低分子化合物で、JAK1が阻害されることで病態生理学的にアトピー性皮膚炎に関与するとされるインターロイキン(IL)-4、IL-13、IL-31、IL-22、胸腺間質性リンパ球新生因子(TSLP)を含む複数のサイトカイン・シグナルが抑制されると考えられています。ステロイド外用剤やタクロリムス外用剤などによる適切な治療を一定期間受けても十分な効果が得られず、強い炎症を伴う皮疹が広範囲に及ぶ患者さんに使用されます。また、原則として、部位の状態に応じて抗炎症外用剤が使用されます。自己判断で使用を中止したり、増減せず、指示通りに飲み続けることが重要です。

#### ●使用方法

- ・飲む量は症状などに合わせて医師が決める。
- ・成人及び12歳以上の小児の場合：1日1回100mg(症状などに合わせ1日1回200mgの使用になることもある)
- ・12週間以内に効果が得られない場合、使用が中止されることが

## 法人賛助会員様ご紹介 第65回

敬称略

協会は多くの法人賛助会員様の年会費によって会務を行っており、本紙面を通じまして日頃お世話になっております法人様を順次ご紹介しております。関係各位にコメントをお願いしておりますので、ぜひ患者さんへの一言をお願い致します。

### 鳥居薬品株式会社

2021年ご入会

◆所在地 〒103-8439 東京都中央区日本橋本町3-4-1  
トライ日本橋ビル

◆電話 0120-316-834

◆業種 医薬品の製造・販売

◆関連商品

◆一言 当社は、2021年11月に設立100周年を迎えました。「世界に通用する医薬品を通じて、お客様、株主、社会、社員に対する責任を果たすとともに、人々の健康に貢献する」ことを企業ミッションとしております。より良い薬、正しい情報を医療関係者を通じて患者様に提供することにより、人々のQOL(Quality Of Life)向上に貢献するように努めます。

### 株式会社篠原化学

2021年ご入会

◆所在地 466-0034 愛知県名古屋市中区明月町3-23

◆電話 052-841-1505

◆業種 寝具

◆関連商品 「fossflakes」シリーズ

◆一言

弊社の理念は、「睡眠衛生を考慮した高品質な製品を提供する。」ことです。

取扱商品は、「エコテックス スタンダード100認証」を取得しており、ご家庭で丸洗いができ、乾燥機にも対応しております。これらの衛生管理が行き届いている製品をご使用いただき、少しでもアトピー一症状の軽減につながれば幸いです。

ある。

#### ● 使用上の注意

- ・免疫反応に関与するヤヌスキナーゼ(JAK)という酵素を阻害するので、感染症にかかりやすくなる可能性がある。発熱や倦怠感などがあらわれた場合には、速やかに主治医に相談する。
- ・服用中は、結核感染に注意するため、定期的に胸部X線などの検査が行われる。
- ・ヘルペスウイルスを含むウイルスの再活性化(帯状疱疹、単純ヘルペスなど)が報告されている。
- ・服用中は生ワクチン【BCG、麻疹(はしか)、風疹(ふうしん)、麻疹・風疹混合(MR)、水痘(みずぼうそう)、おたふくかぜなど】の接種はできない。
- ・妊娠または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することができない。
- ・授乳している人は医師に相談する。
- ・免疫抑制作用が増強されると感染症のリスクが増加することが予想され、本剤と適応疾患の生物製剤、他の経口JAK阻害剤、シクロスポリン等の免疫抑制剤(局所製剤以外)との併用はしないようにする。本剤とこれらの薬剤の併用経験はないとされている

- 薬価 サイバインコ錠  
50mg /2678.4円/1錠  
100mg /5221.4円/1錠  
200mg /7832.3円/1錠

#### 日本皮膚科学会アトピー性皮膚炎・蕁麻疹治療安全性検討委員会「JAK阻害薬に関するお知らせ」(2021年9月27日)より

日本リウマチ学会から「JAK阻害薬に関するお知らせ(医療関係者向け情報)」が2021年9月10日に発信されました。

日本では2020年12月にオルミエントが、2021年8月にリンヴォックが、そして2021年9月にサイバインコが難治性アトピー性皮膚炎に対して適応追加承認され保険適用されましたが、米国では上記3剤共アトピー性皮膚炎に対して承認されていません。日本と同様に承認されている欧州、EMA(欧州医薬品庁)からの注意喚起の発信はなく、国内PMDAからオルミエント、リンヴォック、サイバインコの添付文書改訂等の発信は出ていません。JAK阻害内服薬の使用に当たっては特に慎重な観察を行い、症例に応じて適切な間隔で行うことを推奨します。とされています。

#### 【モイゼルト®軟膏/ジファミラスト】

(2021年9月 承認 / 2021年11月現在発売日未定)

この薬は、PDE4阻害剤という、ステロイド外用剤や免疫抑制剤外用剤などとは異なる新しい作用を持つ塗り薬です。

PDE4は、炎症細胞において炎症を抑えるシグナルを分解し、炎症を増幅してしまう酵素です。PDE4を阻害することで、炎症を抑制するシグナルを上昇させて、アトピー性皮膚炎の炎症と痒みを改善します。自己判断で使用を中止したり、増減せず、指示通りに使用することが重要です。

#### ● 使用方法

- ・塗る量は症状などに合わせて医師が決める。
- ・成人：モイゼルト軟膏1%を1日2回患部に塗る。
- ・小児：症状に応じてモイゼルト軟膏1%を1日2回、もしくは、0.3%を1日2回患部に塗る。
- ・塗る量は、皮疹の面積0.1㎡当たり1gを目安とする。
- ・軟膏をチューブから2.5cm(成人の人差し指の指先から第一関節まで)押し出した量が、成人の手のひら2枚分の皮疹の面積に塗るために必要な量となる。

#### ● 使用上の注意

- ・粘膜、潰瘍、明らかに局面を形成しているびらんなどには塗らない。
- ・眼の周囲に塗る場合は眼に入らないよう注意する。(眼に入った場合はただちに水で洗い流す)
- ・妊娠または妊娠している可能性がある人、授乳している人は医師に相談する。
- ・ステロイド外用剤、タクロリムス水和物軟膏は必要な場合のみ併用可。全身投与のステロイド剤、免疫抑制剤は併用禁止。JAK阻害

剤、ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体製剤、光線療法は併用例がなく、密封法及び重層法は検討していないとされている。

- 薬価 2021年9月27日に製造販売商品を取得したが、薬価基準記載及び発売が未定。(2021年11月現在)。

#### 【商品名未定 / 注射薬(ネモリズマブ)】

(国内第Ⅲ相臨床試験・比較試験 終了)

中等症～重症のそう痒を有する13歳以上のアトピー性皮膚炎の患者さん215名で、ネモリズマブ群(4週ごとに皮下投与)とプラセボ群を比較しました。その結果、主要評価項目である投与開始16週後のそう痒VAS※変化率は、ネモリズマブ群に統計学的な有意差が認められました。ISIスコア※を7以上改善した患者さんの割合は、ネモリズマブ群半数以上の結果となっていました。

京都大学大学院医学研究所皮膚科学教室の梶島健治教授は、「アトピー性皮膚炎の患者さんは、痒みによる仕事や学業における集中力の低下や睡眠障害などのQOLの低下に苦しんでいます。本試験は、アトピー性皮膚炎の痒みの作用機序の特定につながる重要な結果をもたらしました。本剤は、アトピー性皮膚炎の患者さんとそのご家族の苦しみ、そしてアトピー性皮膚炎がもたらす社会的損失の軽減につながる可能性があります」とされています。

※そう痒 VAS：そう痒視覚アナログ尺度(Visual Analogue Scale)の略で、痒みの程度を1cmのスケール(0:痒みなし、10:想像される最悪の痒み)上に線を引き、痒みの程度を判定する評価指標。

※ISIスコア：Insomnia severity indexの略で、睡眠に関する患者さんの主観的評価指標。

#### 既存のアトピー性皮膚炎治療薬

#### 【デュピクセント(デュピルマブ)】

この薬は、ヒト型抗ヒトインターロイキン(IL)-4/13受容体モノクローナル抗体製剤と呼ばれる注射薬です。

IL-4受容体 $\alpha$ サブユニットに結合し、アトピー性皮膚炎や気管支喘息の病態において重要な役割を担うIL-4及びIL-13の働きを抑えることで症状を改善します。ステロイド外用剤やタクロリムス軟膏などによる適切な治療を行っても十分な効果が得られず、強い炎症を伴う皮疹が広範囲に及ぶ人に使用されます。原則として、アトピー性皮膚炎の部位の状態に応じて抗炎症外用剤や保湿外用剤が継続使用されます。

#### ● 使用方法

##### 【アトピー性皮膚炎の場合(成人)】

- ・デュピクセント皮下注300mgシリンジ・ペンを初回2本、2回目以降は1本。2週間に1回。  
通常、16週間使用しても効果が得られない場合は使用を中止することがある。

##### 【鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の場合(成人)】

- ・デュピクセント皮下注300mgシリンジ・ペンを2週間に1回1本、症状安定後は4週・1回に変更できる。
- ・自己注射(ペン)を開始する前には、必ず医師、薬剤師または看護師から自己注射の仕方について説明を受け、「自己注射のためのガイドブック」も参照する。
- ・使用前に45分以上かけて室温に戻す。
- ・腹部、大腿部または上腕部に皮下注射し、腹部への注射の場合は、へその周り5cmは避けて注射する。同じ箇所へ繰り返し注射することは避ける。
- ・皮膚が敏感な部位、皮膚に損傷、打撲や傷がある部位、アトピー性皮膚炎の強い炎症がある部位には注射しない。

#### ● 使用上の注意

- ・この薬の使用によって他のアレルギー性疾患の症状が変化する可能性があり、他のアレルギー性疾患に対する適切な治療を怠った場合、症状が急激に悪化し、喘息などでは死亡に至る可能性もある。この薬の使用だけでなく、投与間隔を変更した後や使用を中止した後も、医師の指示なく他のアレルギー性疾患に対する治療



内容を変更しないこと。

- ・使用中に全身の痒み、蕁麻疹、喉の痒み、ふらつき、動悸、冷や汗、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなるような症状があらわれた場合、ただちに医師に連絡する。
- ・使用期間中は、生ワクチン【BCG、麻疹(はしか)、風疹(ふうしん)、麻疹・風疹混合(MR)、水痘(みずぼうそう)、おたふくかぜなど】の接種はできない。
- ・妊娠または妊娠している可能性がある人、授乳している人は医師に相談する。
- ・注射器が入った外箱に入れたまま、凍結を避けて冷蔵庫(2~8℃)で保管する。

- 薬価 デュピクセント 高額療養費制度等の軽減措置対象  
皮下注300mg シリンジ 66,356円/本  
皮下注300mg ペン 66,562円/本

### 【ネオオラル®(スクロスポリン)】

(2008年10月 追加承認)

この薬は、免疫抑制剤と呼ばれるグループに属し、体内の免疫反応を抑制します。これまでのステロイド外用剤やタクロリムス軟膏などの治療では効果が不十分で、強い炎症(腫れ、痛み)を伴う皮疹が体表面積の30%以上に及ぶ人に使用されます。自己判断で使用を中止したり、増減せず、指示通りに飲み続けることが重要です。

サンディミュン内用液またはカプセルから切り換えてこの薬を使用する人は慎重に使う必要があります。また、活動性の単純ヘルペス感染症がある人は、この薬を飲む前に医師に相談。この薬には併用禁止の薬や注意すべき薬があります。

#### ● 使用方法

- ・飲む量は、症状や血中濃度などに合わせて医師が決める。

#### 【アトピー性皮膚炎の場合-成人】

- ・体重10kg当たり15mg~25mgを1日2回。  
1回の治療期間は12週以内が目安。
- ・1カ月に1回を目安に血中濃度を測定し、飲む量を調節。(医師の指示した受診日を守る)

#### ● 使用上の注意

- ・腎臓や肝臓、すい臓に障害が起こることがあるため、頻回に血液検査や尿検査が行われる。
- ・風邪などの感染症にかかりやすくなったり、感染症が悪化することがある。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談する。
- ・授乳を避ける。
- ・グレープフルーツジュース、セイヨウオトギリソウ含有食品はこの薬の効果が影響するため控える。

#### ● 薬価 (先)=先発品・(G)=ジェネリック

10mg=72.9円/1カプセル(先)	48.4円(G)
25mg=157.6円/1カプセル(先)	83.7円(G)
50mg=269.3円/1カプセル(先)	156.2円(G)
サンディミュン 25mg=232.2円/1カプセル(先)	
50mg=407.2円/1カプセル(先)	
サンディミュン内用液10%=848.6円/ml	
ネオオラル内用液10%=633.2円/ml	

### 【プロトピック軟膏®(タクロリムス)】

(1999年11月 0.1% 承認・2003年12月 0.03% 承認)

この薬は、皮膚の炎症を抑えてアトピー性皮膚炎の症状を改善します。ステロイドの塗り薬などで効果が不十分な場合や、副作用があって使用できない場合などに使われます。

自己判断で使用を中止したり、増減せず、指示通りに使用することが重要です。

プロトピック軟膏0.03%は2歳以上の小児に使用されます。

#### ● 使用方法

- ・塗る量は、症状などに合わせて医師が決める。
- ・1日1~2回、適量を患部に塗る。

- ・1回当たり塗る量は5g(チューブ1本)まで。チューブから押し出した際に軟膏0.5gは5cm程度の長さ。
- ・使用後に皮疹が悪化したり、2週間以内に改善しなかった場合は主治医に相談する。

プロトピック軟膏0.03%の場合、1回に塗る量の上限は、2~5歳(20kg未満)は1g。6~12歳(20kg以上50kg未満)は2~4g。13歳以上(50kg以上)は5g。

#### ● 使用上の注意

- ・外陰部や粘膜などには塗らない。
- ・1日2回塗る場合は、およそ12時間間隔で塗る。
- ・ラップなどで覆ったり、他の薬と重ね塗りをしない。
- ・この薬を塗った部分を日光にさらすのは最小限にし、日焼けランプ/紫外線の使用は避ける。
- ・塗った後に刺激感(ヒリヒリ感、ほてり感、痛み、痒みなど)が起こることがあるが、通常は皮疹の改善とともにおさまる。
- ・妊娠または妊娠している可能性がある人、授乳している人は医師に相談する。

#### ● 薬価

プロトピック軟膏0.1%=92.2円/g(先)
タクロリムス軟膏0.1%=49.9円/g(G)
プロトピック軟膏0.03%=96.6円/g(先)

### 【ステロイド外用薬】

ステロイド外用薬は、日本では1953年にヒドロコルチゾン酢酸エステル外用剤(現ウィークV群相当)が最初に承認され、以後多くの薬剤が開発され既に70年近くになります。

ステロイド外用薬は、製剤ごとに5ランクに分けられており、皮疹の重症度に応じた適切なランクを使用すること出来ます。ステロイド外用薬の吸収率は、前腕伸側を1とした場合、頬は13、頭部は3.5、頸部は6、陰囊は42に値します。

また、乾燥状態がベースにあるアトピー性皮膚炎では、ステロイドの剤形は軟膏が基本です。ただし、夏場には使用感を優先してクリームやローション、頭の病変にはローション、赤く盛り上がる痒疹や肥厚した苔癬化皮疹にはテープといった具合に、季節や部位により剤形を変更することが効果的な場面もあります。

#### ■ ステロイド外用剤のランク

分類	商品名
ストロングスト(I群)	デルモベート・ジフルール・ダイアコート
ベリーストロング(II群)	フルメタ・アンテベート・トプシム・リンデロン DP・マイザー・ビスダーム・テクスメテン・ネリゾナ・パンドレル
ストロング(III群)	エクラー・メサデルム・ボアラ・アドコルチン・ベトネベート・リンデロン V・フルコート
ミディアム(IV群)	リドメックス・レダコート・アルメタ・キンダベート・ロコイド・グリメサザン・オイラゾン
ウィーク(V群)	プレドニゾン

※米国のガイドラインではステロイドを7つにランク分け。ヨーロッパでは4つのランク分けで分類が異なる。  
出典:アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2018より

#### 「これくらい?こんな程度」って諦めていませんか?

「毎日、同じように塗ってるのに何故悪くなるの?」「またヘルペスできた!」など、ご経験されていると思います。毎日、毎日同じことの繰り返し。面倒でおざなりにもなりますね。

本紙6ページでも、「保湿剤・ステロイド外用薬のおさらい」と題して使いたい方や塗る量なども記載しました。今更の内容ですがご参考になれば幸いです。ご紹介させて頂いたように、今、アトピー性皮膚炎の治療新薬がすごい勢いで出揃ってきています。勿論、かかりつけ医の診断と処方が無ければ使えませんが、諦めてしまうと良くならないこともお気づきだと思います。アトピーは、あまり力まず・あるがまま・焦らず・慌てず・諦めず!で、「もう一度、諦めない」を年頭の目標にして頂きたく願います。次ページです。

## 新薬への期待は高まりますが、今一度 保湿剤・ステロイド外用薬の『お・さ・ら・い』

新薬は有難い限りですが、長年の治療実績があるお薬ではダメということではありません。アトピー性皮膚炎治療の基本とされている保湿剤とステロイド外用薬について、もう一度おさらいしてみました。「これくらいいいや!」と、疎かになっていませんか。

### ステロイド外用薬の塗り回数

ステロイド外用薬は、患者さんの年齢、疾患や皮疹の種類・程度、皮疹の部位・範囲に応じて適切なランクや剤形が選択されます。ステロイド外用薬は必要十分な量を使用することが重要とされます。かかりつけ医ドクターからの外用指導が優先ですが、急性増悪期には、1日2回(朝・夕方は入浴後)の塗り回数が基本とされています。ステロイド外用薬のストロングクラス以上では、3週間に降の治療効果は1日1回外用と2回外用で有意差はないとされていますので、症状が落ち着いたあとは1日1回的外用でも良いようです。ただ、ミディアムクラス以下の場合は1日2回外用の方が1日1回より有効とされています。勿論、自己判断は禁物。かかりつけ医のドクターに症状を診てもらったうえで対応が基本です。

### 保湿剤・ステロイド外用量の目安(FTU)

皮膚がしっとりする程度の外用が必要で、目安として人先指の先端から第1関節部まで口径5mmのチューブから押し出された量(約0.5g)が、手のひら2枚分の患部に塗る量とされています(finger tip unit)

年齢・患部別の外用使用量(1FTU=0.5g)					
小児	顔&頸部	上肢片側	下肢片側	体幹(背面)	体幹(前面)
3-6ヶ月	1	1	1.5	1	1.5
1-2歳	1.5	1.5	2	2	3
3-5歳	1.5	2	3	3	3.5
6-10歳	2	2.5	4.5	3.5	5
成人	2.5	4	8	7	7

※FTUは必要最低限の塗布量とも聞きます。また、塗った部位が少し光るくらい。ティッシュを押し当て落ちない程度とも聞きます。

### どちらが先?保湿剤と外用薬

2度塗らなくてもよいように保湿剤と外用薬をミックスした混合薬を処方下さる病院やクリニックもありますね。結果から申し上げますと、どちらを先に塗っても効果にあまり差はないようです。「ステロイド外用薬、保湿剤の順で塗るとステロイド外用薬を密閉できて効きやすい」「保湿を先にした方がステロイドの吸収がよくなる」「保湿剤は広い範囲に使うから、保湿剤、ステロイド外用薬の順番の方が塗りやすい」など様々な考えがあるようです。ただ、アトピー性皮膚炎がある場合、乾燥肌であることが多く、患部以外にも保湿剤を塗るようにご指導があると思います。入浴後であれば皮膚に水分が多く含まれている状態なので、保湿剤を塗ることで、皮膚

の乾燥をより防ぐことが期待出来るそうです。浴室にバスタオルを持ち込んで、やさしく身体水滴を抑えて「浴室内で保湿剤塗ってもいいよ」とドクターからお聞きしたこともあります。そして、お風呂を上がってから患部に外用薬という方法も。また2剤の役割は、炎症のある部位にはステロイド外用薬。乾燥している部位には保湿剤となります。

### 縦たて。横よこ。塗り?

指先にとったお薬(保湿剤・外用薬)どのように塗ってますか?FTUを目安に出した量を、手のひら2枚分の面積数か所に分けて、ちゅんちゅんと置くように付けます。そして指ではなく手のひらで、ごしごし擦り込みます乗せるように、やさしく伸ばします。炎症のある部位は、吸収率が高いので擦り込む必要は無いようです。また、炎症部位は皮膚の凹凸も強いいため被せるようにたっぷり塗るという感じでしょうか。そして、ヒトの皮膚には皮膚(しわ)があります。ひじ・ひざの内側や手首、お腹周り、どこを見ても横にしわがあります。腕や足などはどうしても上上下下に塗りがちですが、出来るだけしわに合わせて横塗りを意識してみてください。赤ちゃんの場合も、手首や足首などのしわをしつかり広げて横塗りです。

### いつまで塗るの? プロアクティブ療法

「見た目に良くなったから塗るの止めたら、ぶり返した」とお聞きすることもよくあります。そうなる「何時まで塗るの?」ってなりますね。悪くなったら塗る方法をリアクティブ療法、良くなったように見えても塗るはプロアクティブ療法と言います。この療法は、再燃をよく繰り返す皮疹に対してステロイド外用薬やタクロリムス軟膏で、速やかに炎症を軽減し寛解導入した後に、保湿剤とステロイド外用薬やタクロリムス軟膏を定期的に(週2回など漸減しながら)塗布し寛解状態を維持します。炎症が軽快して一見正常に見える皮膚にも炎症細胞が残っており炎症の再燃を予防する療法です。ただし、プロアクティブ療法への移行は、皮膚炎が十分に改善した状態で行われることが重要で、個々の症例において皮膚症状、経過、検査値などから総合的にドクターの判断が必要となります。

### 血清TARC値で確認

アトピー性皮膚炎の診断や病勢判定として、血清TARC値(保険適応の血液検査)というバイオマーカーが使用されています。アトピーでは症状の増悪を繰り返すため、治療効果や現在の症状の状態がどの程度なのか判りにくいため、TARC値によって、その時の病勢が客観的に数値で示されます。皮膚症状や経過、TARC値を含む検査値を診て、プロアクティブ療法に移行していきます。

## 読んでみました!! この書籍!!



みなさんのご参考になれば幸いです。読めば参考になったり、反対に落ち込んだりする事もあるかもしれませんが、頑張って前向きに捉えて行きましょう。

### 【タイトル】「図解 最新医学で治す アトピー」

【著者】大塚 篤司先生・堀向 健太先生 【発行】(株)河出書房新社 【定価】1320円+税

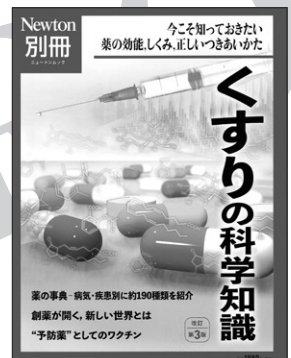
既に何冊か著書をご紹介している大塚先生と堀向先生のお二人が監修された書籍です。前書に大塚先生より「アトピーは必ずよくなる」とか「堀向先生より「アトピーに悩む人々に向けて」とのお言葉。両先生のお気持ちがこの一冊に込められています。最初に症状度合いが測れるセルフチェックシート付き。そして成人から乳幼児さん全てのアトピー患者さんに必要な治療のこと、ステロイドや保湿剤に内服薬のこと。小紙でご紹介した新薬についても掲載されています。さらには、皆さん苦労される日常生活についても、マスクがぶれやニキビ、食事制限やストレスについて。お母さんの心配事もたっぷり掲載されています。帯にもある「一番やさしいアトピーの本」さらに帯裏には「きっとあなたを助けてくれる」と書かれています。図解やイラストもあって分かりやすい、アトピー治療の最新情報が満載の一冊です。



### 【タイトル】ニュートン別冊「くすりの科学知識」

【発行】(株)ニュートンプレス 【定価】1800円+税

お薬について勉強してみました。毒と薬は紙一重なんてことも耳にしますね。そもそも薬って一体何?麻薬って麻が原料の薬?薬は一体どう創る?薬が効くメカニズムは?処方薬と一般薬の違いは?最近気になる予防薬とワクチンの違いは?などなど。イラストもあって、薬の中身を垣間見たような内容です。さらには、新型コロナワクチンについても詳しく書かれています。最終章には、「薬の事典」と題して解熱鎮痛薬、風邪の薬、勿論、皮膚の薬、白内障・緑内障の薬、点鼻薬、免疫抑制剤など25種類に分けてまとめられています。また、コラムでは「かゆみの薬」と題して、かゆみを抑制する薬の開発についても記載されています。別のコラムでは、「バーチャル心臓で薬の副作用を予測」とあります。テレビCMで見かける「椅子に座っただけで患者さんにピッタリの薬」が出来る時代もそう遠くないのかもかもしれません。



図書の貸し出しいたします。詳しくはお問い合わせください。

TEL 06-6204-0002 FAX 06-6204-0052



ハイ! アトピーつき合い40年の友実です 連載第59回



フリーアナウンサー 関根 友実

アトピー性皮膚炎の新薬が続々と登場しています。皮膚表面ではなくアレルギー症状が起きる根本要因となっている部分に注射や飲み薬などで働きかけるといふ今までにない機序のお薬もあり、期待が高まっています。強いかゆみなどのアトピーの辛い症状が少しでも緩和されれば、皮膚症状だけではなく、良い睡眠が取れないとか、日頃、学業や仕事に集中できないなどの困りごとの改善にもつながってくると思います。患者の生活の質を大きく向上

させる可能性が広がる、希望に満ちた話だとワクワクします。難治性、重症度の高い症状の方への適応となっているものも多く、興味はあるけれどまだ試していない方もおられるかと思えます。中には薬価がまだ高価なため、治療を開始するのに迷われているというお声が聞かれることもあります。薬価のことは難しいので軽々なことは言えませんが、最近では、YouTubeなどの動画共有サイトで、実際に治療を受けている患者さんの生の声を聞けたりもします。実際の使用感を率直にレポートして下さるので、参考になります。効果があつたと語る人もいれば、自分にはあつてなかったと語る人もいたり、副作用について言及される人もいます。インターネットを駆使すれば、多様な情報に瞬時にアクセスすることができる凄いい時代になったものだと感嘆します。

その便利さとは対照的に、一つの医薬品が開発され、患者のもとに届くまでには、想像を遙かに超えた時間と労力が必要となります。まず、基礎研究。そして開発。治験を経て、新薬として承認され、ようやく治療として用いられる状態になって、製薬会社で製造されたものが医薬品卸を経て病院や薬局に送られて、私たち患者の目の前に現れます。重厚長大な旅路のようです。私たち患者が直接関わるのは、診察をして下さる医師や看護師、薬剤師などの医療者ですが、その背後にそのお薬に関わってきた数多くの人たちの物語があるのだということに、時折思いを馳せるのが好きです。妄想を繰り広げつつ、勝手に脳内BGMで「風の中のすばる〜、砂の中の銀河〜」と、中嶋みゆきさんの『地上の星』を流したりしています。胸が熱くなるとともに、自分は一人で生きてるんじゃないかと、生かされているんだと感謝の気持ちが湧いてきます。

私は今もアトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性結膜炎、好酸球副鼻腔炎と、アレルギーのデパートのような患者です。きつと一生、なんらかの薬を使い続けていくと思います。アトピーに関しては、毎日、服薬だけでなく、保湿などのスキンケアを欠かしたことはありません。自分の体質や症状に合った薬、合わない薬、禁忌とされる薬、さまざまにあります。でも、どのような薬であっても、そこには歴史があつて、携わってきた多くの人の汗と涙が詰まっているということをお忘れなっていたいと思います。

**プロフィール** 元朝日放送アナウンサー。女性初の全国高校野球選手権大会の実況を行う。現在は臨床心理士として心療内科に勤務。フリーアナウンサーとしてもテレビ・ラジオで活躍中。アトピー性皮膚炎・アトピー・白内障・アレルギー性副鼻腔炎・アレルギー性気管支喘息・蕁麻疹など、幼少期より様々なアレルギー疾患を経験。現在も家庭と子育て、仕事、自らのアレルギーに奮闘中。

大阪はびきの医療センターの食物アレルギー料理教室 レシピ集

混ぜて炊飯器に入れるだけ!

米粉ケーキ(ココア味)

炊飯器を使用して簡単に米粉ケーキが作れます。デコレーションするのも楽しいですね!

※デコレーションの食材は、材料に含まれていません。

★材料/5合用炊飯器 1台分★

- A 米粉 ..... 90g
- 純ココア ..... 10g
- おからパウダー ..... 20g
- ベーキングパウダー..... 小さじ1
- B 砂糖 ..... 40g
- 豆乳 ..... 140g
- ※乳不使用マーガリン..... 30g

使用している食材に含まれるアレルギー物質(網掛けで表示)			
卵	乳	小麦	そば
落花生	えび	かに	アーモンド
あわび	いか	いくら	オレンジ
ガジュツ	キウイ	牛肉	くるみ
ごま	さけ	さば	大豆
豚肉	まつたけ	鶏肉	バナナ
もも	やまいも	りんご	ゼラチン

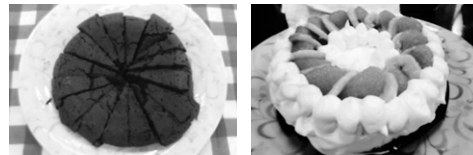
(※豆乳を加えてレンジで溶かしておく)

☆作り方☆

- ① ボウルにBを入れて、ゴムべらで混ぜる。
- ② Aをふるいながら、①のボウルへ入れ、ゴムベラでよく混ぜる。
- ③ 炊飯釜の底に油(分量外)を薄くぬり、生地を流し入れる。
- ④ 炊飯器の「炊飯モード」で加熱する(約40分)。竹串を刺して生地が付かなければ、できあがり。付くようであれば、生地を裏返して炊飯モードでさらに加熱する(5分程度)。

Point レシピのポイント

- ・ 乳不使用マーガリンがない場合は、サラダ油(同量)でも作れます。
- ・ また、米粉ホットケーキミックスを使用することができます。
- ・ その場合、ベーキングパウダーは不要です。ホットケーキミックス100g、砂糖30g(にお好みで)減量します。
- ・ 豆乳ホイップや果物でデコレーションしてみませんか?  
豆乳ホイップ(200ml)にレモン汁(小さじ1)を加えると、しっかり泡立ちます。



・ 右の写真は2台分を使用し、デコレーションしています。

大阪はびきの医療センターのホームページには、料理教室のレシピが掲載されていますのでご覧ください。  
除去食療法に少しでもお役に立てて頂ければ幸いです。

※安全性の観点より、転用・転載等の一切を禁止します。

料理教室のレシピはこちらから



米ぬか繊維で作った締め付けない靴下

締め付けにくく、ズレにくい。  
滑らかな肌触りで、履き口柔らか。



日本アトピー協会 T1102500A

株式会社 鈴木靴下

本店ショップ <https://www.suzuki-socks.shop/>



〒636-0216 奈良県磯城郡三宅町小柳 23-1 TEL : 0745-44-0132 (受付時間) 平日 9~12時, 13~17時 <https://www.suzuki-socks.co.jp/>

送 達 ご 希 望 の 方 は ご 連 絡 く だ さ い。 書 面 ・ メ ー ル に て 受 付 中

日本アトピー協会通信紙 あとびいなう

通信紙「あとびいなう」は積極的な治療への取り組みと自助努力を促すことを趣旨とし多くの患者さんに読んでいただきたく無料でお届けしております。ご希望の方はお届け先・お名前・電話番号やメルアドなどをお知らせください。患者さん・医療従事者の方に限定してありますが一般の方もご希望でしたらご連絡ください。スクリーニングの結果、お届け出来ない場合もありその節はご容赦ください。なお協会ホームページからもお申し込みいただけます。

次号発行予定 3月12日

〒541-0045  
大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階  
電話 06-6204-0002 FAX.06-6204-0052  
E-Mail [jadpa@wing.ocn.ne.jp](mailto:jadpa@wing.ocn.ne.jp)  
Home Page <http://www.nihonatomyjoin-us.jp/>

公益財団法人日本アレルギー協会 関西支部主催  
「アレルギー週間 市民公開講座」のお知らせ

毎年恒例となっております「市民公開講座」が開催されます。毎年2月17日～23日のアレルギー週間の期間中、全国で市民公開講座が開催されます。全国の詳細は、公益財団法人日本アレルギー協会ホームページをご覧ください。  
小紙では関西2府4県の公開講座をご紹介します。アレルギー疾患の領域は、様々な新薬の登場でお薬の選択肢も増え、新たな治療方法や最新情報も目覚ましく進化しています。ZOOM利用によるWEB開催(奈良県はハイブリッド開催)となっております。聴講したい演題をご覧ください、ぜひご参加下さい。エントリーは、以下会場ごとのQRコードより行えます。



【奈良県】 第12回市民公開講座in奈良  
「アレルギーに打ち克つ」会場・WEB同時開催  
(Web参加500名・現地参加100名)  
開催日：令和4年2月5日(土) 14:00～16:10  
会場：奈良県文化会館 小ホール  
締切：2月3日(木)  
開会のごあいさつ：14:00～14:05  
(公財)日本アレルギー協会理事 関西支部支部長 東田 有智先生  
第1部：14:05～14:45 司会：村木 正人先生  
「目がかゆい!それってアレルギー?」  
近畿大学奈良病院 眼科 教授 福田 昌彦先生  
第2部：14:45～15:25 司会：南部 光彦先生  
「食物アレルギー ～正しく知って、向き合おう～」  
奈良県総合医療センター 小児科 医長 大仲 雅之先生  
Q&Aコーナー：15:30～16:00 司会：東田 有智先生  
「いただいたご質問にお答えします」  
福田 昌彦先生/大仲 雅之先生/村木 正人先生/南部 光彦先生  
第4部：16:00～16:10  
「アレルギー疾患に有効な家庭内の環境改善方法」  
(株)ダスキン 三宅 京子氏



【京都府】 令和4年アレルギー週間府民公開講座in京都  
WEBライブ配信(ZOOM使用)  
開催日：令和4年2月13日(日) 14:00～15:40  
締切：2月9日(水)  
第1部：14:00～14:10  
「日本アレルギー協会の活動について」  
京都府立医科大学大学院医学研究科 皮膚科学 教授 加藤 則人先生  
第2部：14:10～14:30  
「気管支喘息-咳のない毎日をめざして-」  
京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 瀬戸 友利恵先生  
第3部：14:30～14:50  
「花粉症治療の最近の進歩」  
京都府立医科大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 准教授 安田 誠先生  
第4部：14:50～15:10  
「小児アレルギーの最近の話題」  
京都府立医科大学大学院医学研究科 小児科学 講師 土屋 邦彦先生  
第5部：15:10～15:30  
「変わりつつあるアトピー性皮膚炎治療」  
京都府立医科大学大学院医学研究科 皮膚科学 准教授 益田 浩司先生  
第6部：15:30～15:40  
「アレルギー疾患に有効な家庭内の環境改善方法」  
(株)ダスキン 中尾 佳子氏



【滋賀県】 第17回滋賀アレルギーフォーラム  
「知っておきたいアレルギー疾患の最新治療!」  
WEBライブ配信(ZOOM使用)  
開催日：令和4年2月6日(日) 13:30～15:40  
締切：2月3日(木)  
司会進行・開会挨拶：13:30  
済生会守山市民病院 院長 野々村 和男先生  
第1部：13:35～14:15  
「知っておきたいアトピー性皮膚炎の最新治療」  
滋賀医科大学 皮膚科 助教 高橋 聡文先生  
第2部：14:15～14:55  
「知っておきたいアレルギー性鼻炎と好酸球性副鼻腔炎の最新治療」  
滋賀医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師 神前 英明先生  
第3部：14:55～15:35  
「知っておきたい大人のぜんそく最新治療」  
滋賀医科大学 呼吸器内科 准教授 山口 将史先生  
閉会挨拶：滋賀医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 清水 猛史先生



【兵庫県】 第28回「アレルギー週間」市民公開講座  
「アレルギーについて考えよう」  
WEBライブ配(ZOOM使用)  
開催日：令和4年2月20日(日) 14:00～16:00  
締切：2月18日(金)  
開会挨拶・総司会  
北播磨総合医療センター 病院長 西村 善博先生  
第1部：14:00～14:10  
「兵庫県のアレルギー疾患対策について」  
兵庫県健康福祉部感染症等対策室感染症対策課 副課長 藤原 秀憲氏  
第2部：14:10～14:50 「咳が止まらない!その原因は?」  
姫路聖マリア病院 病院長/アレルギー疾患総合診療部門 部門長 岡山大学医学部医学科臨床教授 金廣 有彦先生  
第3部：14:50～15:30  
「アトピー性皮膚炎にとって汗は悪者?」  
びとう皮膚科クリニック 院長 尾藤 利憲先生  
第4部：15:30～16:00  
「しつもん(Q&A)コーナー」  
西村 善博先生/金廣 有彦先生/尾藤 利憲先生



【大阪府】 第28回「アレルギー週間」web市民公開講座in大阪  
「アレルギー疾患 家庭での対応withコロナ」  
WEBライブ配信(ZOOM使用)  
開催日：令和4年2月12日(土) 14:00～16:10  
締切：2月10日(木)  
開会のご挨拶：14:00～14:05  
(公財)日本アレルギー協会理事 関西支部支部長 東田 有智先生  
第1部：14:05～14:15  
「大阪府のアレルギー疾患対策について」  
大阪府健康医療部保健医療室地域保健課 総括主査 柏木 良夫氏  
第2部：14:15～14:45 子どものアレルギー  
「正しい知識でしっかり予防 アトピー性皮膚炎と食物アレルギー」  
藤田医科大学ばんなね病院 小児科 教授 近藤 康人先生  
第3部：14:45～15:15 大人のアレルギー  
「気道系のアレルギー 鼻炎、喘息、口腔アレルギー」  
近畿大学病院 アレルギーセンター 教授 佐野 博幸先生  
第4部：15:15～15:45 環境対策(お掃除)  
「アレルギー疾患に有効な家庭内の環境改善方法」  
(株)ダスキン 開発研究所 熊野 一郎氏  
Q & Aコーナー：15:50～16:10  
「事前の頂いたご質問にお答えします」  
柏木 良夫氏/近藤 康人先生/佐野 博幸先生/熊野 一郎氏



【和歌山県】 第28回アレルギー週間市民公開講座  
WEBライブ配(ZOOM使用)  
開催日：令和4年2月26日(土) 14:00～16:00  
締切：2月24日(木)  
総司会・開会の挨拶：14:00～14:10  
日本赤十字社和歌山医療センター副院長 兼 小児科部長 吉田 晃先生  
14:10～14:15  
「和歌山県のアレルギー疾患対策について」  
和歌山県福祉保健部健康局健康推進課 課長 吉野 裕也氏  
第1部：14:15～15:00  
「アトピー性皮膚炎～正しい理解と上手な付き合い方～」  
みんなのこどもアレルギークリニック 院長 井庭 憲人先生  
第2部：15:00～15:45  
「鼻アレルギーの診断と治療～セルフケアから舌下免疫療法まで～」  
池田耳鼻いんこう科 院長 池田 浩己先生  
情報提供：15:50～16:00  
「アレルギー疾患に有効な家庭内の環境改善方法」  
(株)ダスキン 開発研究所基礎研究室 熊野 一郎氏

